
襖の向こう

yuran

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

襖の向こう

【Nコード】

N8645L

【作者名】

yuran

【あらすじ】

テスト勉強中に聞こえてきた若い女の声。
やがて、それはだんだんとまづい方向へ

（前書き）

短編第二弾です。

予想以上にひでえや……こりゃ。

長い目でご覧ください。

我が家は何も変哲も無い一軒家である。

そして、多くの家庭でありそうなことに、二つの繋がった部屋を弟とフスマ一枚で分けている。

つまり、まとめて子供部屋というわけだ。

彼女がいない俺にとって、それに対して困ったことは今まで無かった——しかし、

机に向かってシャーペンを握る俺の背後にある襖。その向こうにいる弟に生まれて初めて、プレッシャーを感じている。

それは数十分前に遡る。

今日はテスト期間中でいつもよりも帰宅が早かった。その時間をちゃんと有効的に使おうと、埃が積もった学習机に向かって、筆ならぬシャーペンを走らせていた。

こんなとき彼女がいたならば、テスト勉強と一緒に勉強するだけで青春のページを刻むことができるんだろうな。

童貞の妄想は無限大だ。

しかし、今の俺にそんな考え事をしている余裕は無い。

明日の科学は範囲が広く、今から必死にやっても頭の悪い俺では赤点を避けられるかどうか……といった感じなのだ。

顔も悪くて、スポーツも出来なくて、頭も悪かったらお終いだ。静寂に包まれた空間にカリカリと化学式を書く音だけが響く。

しかし、そんな静寂を破ったのは襖一枚で繋がった弟の部屋から聞こえたそれだった。

「ねえ……」

若い女の声。

どこかで聞いたことのある、アイドルのようなその声は息遣いが少し荒かった。

俺は思考は塩基性と酸性から一気にそちらへ向けられた。

（はぁ！？ あいつ帰ってたのか！？ ……いや、それよりも……誰かいるのか？）

聞き慣れない若い女の声。

耳を澄ました。

「ねえってばぁ……」

幼い舌つ足らずの声は小さく内緒話をするように囁っていた。色気があるその声に姿が見えない彼女にときどきしてしまう。彼女は言った。

「……キスしようよ」

！？

なん……ですと。

キス？ 俺よりも先に中学二年生の弟が？

しかし俺の混乱など余所に隣の部屋から聞こえてくるのは、服の衣擦れの音と、クチュクチュという生々しい音だった。

ダメだ。

もうこれ以上は耐えられない。

すでに数分が経過していた。

もはやシャーペン握っているだけで、その先端が減ることは無かった。

意を決して俺はゆっくり立ち上がり、振り返って襖と対する。

「う うおっほん」

わざとらしく咳払いをする。

しかし、姿が見えない彼らの交わりの音は止まらない。

（どうする！？ どうしたらあいつを止められる！？）

「かーさん！……あつまだ帰ってるわけ無いか！」

わざと大きな声を出して自分の存在をアピールする。

しかし、それでも女の「んっ……」というその声は止まらず、それに自分の股間がいちいち反応する。

俺が自分に情けなくなっていた、そのときだった。

「もう我慢できない……！」

彼女の声は先ほどよりも荒々しくなっていた。

姿は確認できないが、何をその言葉が何を意味するのかはわかった。

――もう行くしかない！

俺は襖の取っ手に手を掛けた。

「おい！ やめろ、お前には早すぎる！」

勢いよく開け放つとそこには弟の姿があった。

そして、

卑猥な声を出していた女の姿はそこには無かった。

いや、正確に言うとな姿はあったのだ。

弟の部屋にあるＴＶの中に。

そして、その姿は見覚えのあるものだった。

「……なに？」

弟が俺を訝しげに睨み付けた。

「お前……これどこで」

声が震えていた。

「どこでって……兄貴の部屋のタンスから」

弟は続けて言った。

「テスト期間中くらいこういうの見るのやめたら」

俺はきつと顔を真っ赤にしているだろう。

なぜならそれは昨日友人から借りて、夜中にこっそり見ていた女

優物のAVだったのだから。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8645/>

襖の向こう

2010年10月22日00時40分発行